

# なつかしのどじょうめのわらしだ No.326



## 村の歳時記(きゅうりの葉)

● 田植えの出来る日には赤飯を炊いて、仏様の神様にあげて祝った。赤飯は、きゅうりの葉(木の葉)に包まれた。そのきゅうりの葉はうら山に自生していて、木の高の高い木で、上の方に直径20cm程度の白い花が咲いた。わらしだはその葉をむいたあと葉の理のええのをえらんで、風車を改めで山道を走っておそんだ。

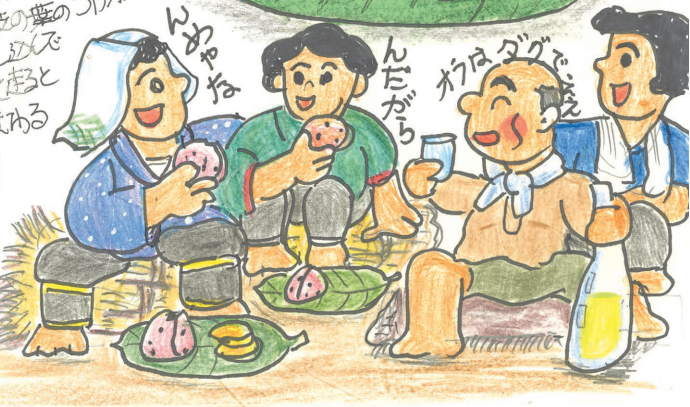
村の風車



● 風直になる時を

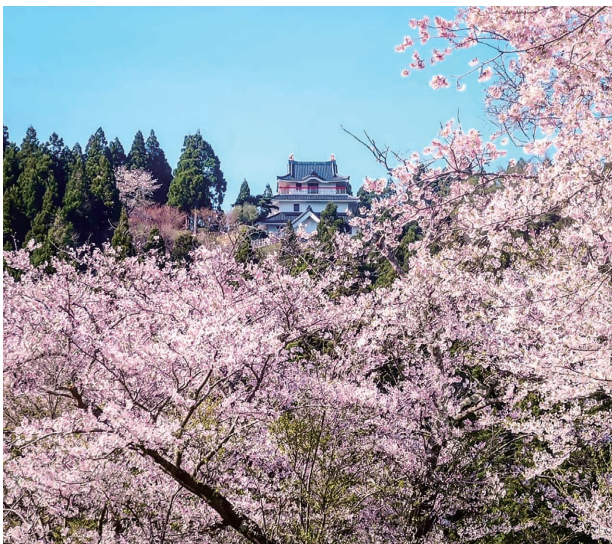
切り残した枝の葉のつけ根勢いに構も差し込んで風はかき上げるとまわる

● 田植えの出来るあがる日の10時と3時のたばこ休みには、きゅうりの葉に包まれた赤飯(あきま)のおにぎりか配られた。みそづけがこも付いてきた。男の人の中には自家製の酒をのんで体の中からのぎをぬく人もいて、田の脇のくろにねおて、舌で談笑して、田植えのひと時をすごしていた。



### #あっと五城目

皆さんから寄せられた投稿をご紹介します。町の風景やグルメ、おすすめスポットなど、町の魅力を「#あっと五城目」を付けて発信してみませんか？



投稿者：yumiko.111 さん

### 『桜の海に浮かぶ城』

桜の木を介して見た五城目城はとても華やかでした。



投稿方法 ^



公式Instagram ^



公式Facebook ^



### こんにちは あかちゃん



これからよろしくね!

パパ・ママから

くん

3月5日 ・  種



### 今月のスマイルさん 2023.5



印刷には環境にやさしい植物油インキを使用しています